

# 本番環境と同じプラットフォームでアプリケーションを構築およびテスト



## 信頼性の高い革新的な共通プラットフォーム上でアプリケーションを開発、テスト、デプロイ

共通のプラットフォームを開発、テスト、本番環境に採用することで、新しいアプリケーションの稼働開始までの時間を最適化し、稼働時の非互換性や問題発生リスクを低減します。

### 一貫した環境によりアプリケーションの開発、テスト、デプロイを容易にする

多くの組織はオンサイト、クラウド、エッジ・インフラストラクチャを組み合わせることでアプリケーションをデプロイしているため、IT 環境は複雑化する一方です。それに加え、多くの企業はコスト削減のために、本番環境とは異なる環境でアプリケーションを開発およびテストしています。しかし、このことは本番において問題を招きかねず、開発者は生産性を十分に発揮するために必要なツール、リソース、サポートを得ることもできません。

一貫性のある開発環境と本番環境をデプロイすることで、組織はこうした課題を克服することができます。Red Hat では、一貫した環境の構築を容易にするために、開発用の新しいサブスクリプションの提供を開始しました。Red Hat® Developer サブスクリプション (チーム用) を利用すると、対象となる企業の開発者は追加コストなしで Red Hat Enterprise Linux® にアクセスできるようになり、プロダクション・ワークロードに使用するのと同じ革新的で信頼性の高いプラットフォーム上でアプリケーションを構築してテストできるようになります。

### Red Hat Developer サブスクリプション (チーム用) とは

Red Hat Developer サブスクリプション (チーム用) により、対象となる Red Hat のお客様は、特定の開発ユースケースで Red Hat Enterprise Linux を追加コストなしで使用できるようになります。

Red Hat Developer サブスクリプション (チーム用) には以下が含まれます。

- ▶ 開発作業向けの Red Hat Enterprise Linux へのアクセス
- ▶ すべての物理または仮想開発者ノードを対象とした、単一の組織用サブスクリプション
- ▶ 開発者向けのセルフサポート・リソース ([Red Hat カスタマーポータル](#)や [Red Hat ナレッジベース](#)へのアクセスを含む) および有償のサポートアドオンの利用
- ▶ 開発システムの継続的なセキュリティアップデート、パッチ、修復ツール
- ▶ 主要な政府規格、商業規格、セキュリティ規格への準拠
- ▶ [Red Hat Insights](#) を含む Red Hat Enterprise Linux 管理ツール
- ▶ Red Hat Cloud Access による物理、仮想、クラウド環境間でのサブスクリプションの可搬性

## Red Hat Developer サブスクリプション (チーム用) の活用法

Red Hat Developer サブスクリプション (チーム用) は、次のような特定の開発ユースケースに使用できます。

- ▶ 品質エンジニア (QE) テスト
- ▶ 本番環境にデプロイする前のパフォーマンス、機能、負荷テスト
- ▶ セキュリティおよびコンプライアンスのテストと認証
- ▶ サードパーティのシステム・インテグレーターまたは有償の開発請負業者によって開発されたアプリケーションの、本番環境へのデプロイ前の内部テストおよび受け入れ
- ▶ 市販のアプリケーションの本番環境へのデプロイ前の内部テストおよび受け入れ
- ▶ 継続的インテグレーション・インフラストラクチャ

Red Hat Developer サブスクリプション (チーム用) は、社内の従業員と契約業者にのみ適用されます。開発作業に自社のシステムを使用する外部のシステム・インテグレーターや開発請負業者向けには、別の[パートナープログラム](#)をご用意しています。



図 1. 開発ユースケースとプロダクション・ユースケースの比較

## Red Hat Developer を通じて ツールやリソースにアクセス

[Red Hat Developer プログラム](#)は、問題を解決し、仲間とつながり、最新情報について知り、プロジェクトを前進させるためのツール、テクノロジー、ビルダーのコミュニティを提供します。

Red Hat Developer サブスクリプション (チーム用) には、Red Hat Developer の e ブック、チートシート、その他の有用なコンテンツへのアクセスが含まれています。

詳細はこちら：  
[developers.redhat.com](https://developers.redhat.com)

## 開発ユースケースの例

- ▶ **チームベースの開発、テスト、統合の取り組み：** コーディング、ビルド、テスト、継続的インテグレーションなど、チームベースのソフトウェア開発作業のために、ソフトウェアコンポーネント、コンテナイメージ、またはコンテナイメージとしてパッケージ化された製品を Red Hat Enterprise Linux にデプロイします。
- ▶ **デモンストレーション作業：** ソフトウェアの機能を説明する目的で、本番環境以外の Red Hat Enterprise Linux 環境にソフトウェアをデプロイします。
- ▶ **社内 SAP アプリケーション開発：** 組織の SAP アプリケーション開発ラボの開発ノードに Red Hat Enterprise Linux をデプロイします。
- ▶ **CentOS Linux 開発環境の移行：** CentOS Linux 開発システムを Red Hat Enterprise Linux に変換し、信頼できるサポート付きのオペレーティングシステムのメリットを得ることにより、開発からプロダクションへの移行を最適化します。

## 開発環境で Red Hat Enterprise Linux を使用するメリット

Red Hat Enterprise Linux により、開発者はより信頼性の高いセキュリティ重視のオペレーティングシステム、より大規模なエコシステム、アプリケーションを迅速に構築およびデプロイするための幅広い言語と開発者ツールに簡単にアクセスできるようになります。

- ▶ **信頼性の高いセキュリティ重視のオペレーティングシステムで開発する：** 開発環境のメンテナンスよりもコーディングに集中します。データセンター、クラウド、およびエッジ・インフラストラクチャ全体で、Red Hat Enterprise Linux で作成されたアプリケーションを確実にホストします。
- ▶ **大規模な認定エコシステムから選べる：** Red Hat Enterprise Linux で確実に動作する、自社のワークフローに最適なサードパーティ製ツール、製品、サービスを使用します。
- ▶ **豊富な開発ツール、プログラム、リソースへのアクセス：** Red Hat Developer プログラムを通じて魅力的な教育コンテンツにアクセスできます。
- ▶ **開発からプロダクションへの移行を容易にする：** 本番環境への移行や環境へのデプロイ時に起きる変換の問題や非互換性、セキュリティの問題を回避するために、デプロイされる環境と同じ環境でアプリケーションを開発します。
- ▶ **既存のスキルを活用する：** CentOS Linux または Red Hat Enterprise Linux の他の派生版を使用している場合、最小限の再トレーニングで同様のユーザーエクスペリエンスが得られます。開発環境と本番環境間の非互換性のリスクを最小限に抑えながら、セキュリティパッチやバグ修正に迅速にアクセスできます。
- ▶ **プラットフォーム更新時のリスクを軽減する：** 公開されているアプリケーション互換性ガイドを活用し、オペレーティングシステムのアップデートに伴うアプリケーションの問題によるリスクを軽減します。

### IT 運用チームにとってのメリット

開発環境と本番環境の両方に Red Hat Enterprise Linux を使用することで、IT 運用チームにとってもメリットがあり、時間が節約され、組織全体の一貫性が向上します。

- ▶ 長期的なライフサイクルサポートと柔軟性を提供する、信頼性の高いセキュリティ重視のオペレーティングシステムで、IT リスクを低減します。
- ▶ 単一のプロセス、ツール、テクノロジーを使って、IT 管理業務を効率化します。
- ▶ 環境全体での標準化により、IT の複雑さを軽減します。
- ▶ 実績ある効率化されたプロセスとツールで、より簡単に環境を移行します。

### Red Hat Enterprise Linux への移行を単純化する

Red Hat Developer サブスクリプション (チーム用) は、[Red Hat アカウントマネージャー](#)を通じて入手できます。サブスクリプションを開始したら、Convert2RHEL ツールを使用して開発システムを Red Hat Enterprise Linux に移行できます。このツールは、オペレーティングシステムの設定を保持したまま CentOS Linux や Oracle Linux システムから Red Hat Enterprise Linux システムへの[変換を自動化](#)し、何度も再起動する必要もありません。

システムを Red Hat Enterprise Linux に変換する方法についての詳細は、[こちらをご覧ください](#)。

### 今すぐ始める

一貫したプラットフォームでアプリケーションを開発し、デプロイすることで、本番環境への移行時に問題が発生するリスクを減らすことができます。Red Hat Enterprise Linux は、信頼性の高い開発環境と運用環境を提供し、高品質なアプリケーションをより迅速かつ効率的に開発するための豊富なツールとリソースを提供します。

お客様の組織が Red Hat Developer サブスクリプション (チーム用) の対象となるかどうかは、Red Hat アカウントマネージャーに[お問い合わせください](#)。



### Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のあるサポート](#)、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#)であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

|   |                                  |                                 |                           |
|---|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------|
| <b>アジア太平洋</b><br>+65 6490 4200<br>apac@redhat.com | <b>インドネシア</b><br>001 803 440 224 | <b>マレーシア</b><br>1 800 812 678   | <b>中国</b><br>800 810 2100 |
| <b>オーストラリア</b><br>1 800 733 428                   | <b>日本</b><br>03 4590 7472        | <b>ニュージーランド</b><br>0800 450 503 | <b>香港</b><br>800 901 222  |
| <b>インド</b><br>+91 22 3987 8888                    | <b>韓国</b><br>080 708 0880        | <b>シンガポール</b><br>800 448 1430   | <b>台湾</b><br>0800 666 052 |